

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		基準は満たしているが、活動空間の手狭さを感じている。改善すべき課題。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基準以上の職員を配置し適切であるが、支援の必要度が高い児童が多く十分とはいいがたい。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			バリアフリーで身体的不自由さのある児童が利用しやすい環境。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			会議などを活用しながらチームで業務改善を進めている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		この度保護者向け評価票を初めて活用した。今後も継続して実施する。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		今後自己評価結果を公表予定。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価は実施していない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所全体で研修の機会を確保している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			いくつかのアセスメントツールを使ってアセスメントしている。子供の課題分析がある程度適切にできていると判断。
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	適応行動を分析するためのアセスメントツールは活用できていない。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			チームで活動プログラムを検討し作成している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		固定しないように企画しているが、活動の幅、質ともに改善の余地はある。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		一つ一つの場面ごとに目標を設定して活動しているが、細かな面で改善の余地がある。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			実施している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼、終礼などを活用し実施している。

⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終礼などで実施している。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		記録を作成しているが、療育の視点で記録を作成するという記録の質の向上が必要。

⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			適切に実施している。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		適切に実施しているが、地域における育ちを保障するという点においては、外出活動を行っているが改善の余地はある。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童の状況をよく把握した児童指導員なども派遣している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		特別支援学校については必要な情報を得ることができているが、普通小などについては情報不足を感じる。改善の余地がある。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療的ケアが常時必要な児童はいないが、てんかん発生時への対応などは、主治医の指示書を取得し対応方針を定めている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		全てのケースについてはできていないが、必要に応じ保育所は児童発達支援事業所等と連携を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		全ての事業所でないが、サービス担当者会議などで他事業所へ必要な情報の伝達などを行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		困難ケースへの対応方法を検討するため、発達障害者支援センターと連携したことはある。その他児童発達支援センターなどの助言を得るケースもある。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	地域へ外出しているが、児童クラブの児童や児童館の児童と交流がはかされていない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			自立支援協議会へ参加している。

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		保護者の生活状況等により差はあるが、子供の様子や、頑張っていることなどをできる限り伝えるよう努めている。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ペアレントトレーニングは実施していない。今後の課題とする。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			必要な説明などを行っている。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		子供の成長を喜ばれていたり、よく対応してもらっていることについては評価をいただいているが、相談や助言などが行えているかという点と不十分。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会はあるが参加率は低い。交流機会づくりは今後の課題。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			適切に対応している。苦情の再発防止策の徹底については改善の余地がある。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的に通信などを作成し、子供の様子や活動状況などの情報公開を行っている。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	○			適切に注意し取り扱っている。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			目で見えてわかるようにするなど可能な限り配慮している。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域に開放したイベントを複数開催し地域住民との交流機会を作っている。
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		防犯マニュアルや感染防止マニュアルの周知については課題がある。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			必要な避難訓練を行っている。
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			必要な研修を行っている。
	㉝	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束の該当事例なし。

④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	アセスメント時に必要な聞き取りを行っているが、医師の指示書は取得していない。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	事故報告書は作成できているが、ヒヤリハットを細かくあげるまではいたっていない。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか			○	バリアフリー環境や成人利用者と交流できることを評価される保護者がいる一方で活動室の狭さや、個室の少なさを課題とする保護者が多い。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか		○		職員数の多さや丁寧に対応してもらっていることを評価する声が多いが、医療職などの専門職による療育を望む声もあるため、今後の課題とする。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			体の不自由な子供も多く利用しており、フラットでケガをしにくい環境を評価する声が多い。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか		○		分析方法についてはわからないという回答が多いが、対応についてはよくしてもらっているという声が多い。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	○			色々な体験をさせてもらっているという評価が多い。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	わからないという評価が多いが、活動で放課後児童クラブの児童との交流機会は確保できていないため、今後の課題とする。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	○			特別なご意見はいただいているいない。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか		○		子供の様子についてよく情報提供してもらっているという保護者と、連絡帳のみで様子を把握しているという保護者がおり、生活状況などで差があることが今後の課題。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		○		よく対応してもらっているという評価は多いが、相談してもらっているアドバイスをもらっているというような評価は少ない。今後の課題とする。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			○	会の活動についてはよくわからないという保護者が多い。実際に会への参加率は低く保護者同士の交流機会づくりは今後の課題。

	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		適切に対応してもらっているという評価が多いが、以前に伝達したことが周知されていない。長期休暇の受け入れの可否の連絡が遅いなどの苦情はいただいております、業務改善の余地はある。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	○		よく対応してもらっているという評価が多い。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	○		自己評価は公開していないため今後の課題。通信などで活動の様子などを伝達していることについては前向きにとらえている保護者が多い。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	○		特別な意見はいただいていない。適切に実施していると判断する。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	○		個別の緊急マニュアルは定めて周知しているが、防犯マニュアルや感染マニュアルは保護者へ周知しておらずわからないという評価が多い。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	○		訓練の実施状況については把握していない保護者が多く、訓練の情報などを子供には伝えているが、保護者へ伝えていない点については今後の課題。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	○		楽しみに通所しているという評価が非常に多い。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	○		満足しているという声は多いが、医療職による療育を望む声があり、療育の質については改善の余地がある。